

日本一さくらんぼ祭り

～今年は「夜の部」も!!～

さくらんぼ祭り

◎日時:
6月22日(土)
10:00～17:00(第1部) 17:30～19:00(第2部)
6月23日(日)
10:00～16:00
◎会場:文翔館前、山形市七日町大通り
◎有料シャトルバス運行(県庁⇄会場)



生産量日本一を誇る山形県のさくらんぼ。その最盛期を迎える初夏、今年も山形市内で「日本一さくらんぼ祭り」を開催します。さくらんぼ祭り名物「日本一巨大な流しさくらんぼ」をはじめ、「さくらんぼ種飛ばしニコニコ相性コンテスト」、「大鍋で清涼さくらんぼすくい」など、おいしいさくらんぼを楽しく味わえる、毎年大人気のイベントのほか、ダンスコンテスト、ご当地グルメフェスなど、子どもから大人まで楽しめる企画が目白押しです。さらに、今年は「夜の部」を初開催！ちょっぴり大人の雰囲気、おいしいお酒とおつまみをご堪能いただけます。さくらんぼづくしの2日間をお楽しみください。

問い合わせ ◎ 観光立県推進課 ☎023-630-2373

日本一さくらんぼ祭り

旬のやまがた

美食レシピ

recipe

みんなが大好き 春が旬！の野菜 アスパラガス



置賜地域は、40年ほど前からアスパラガスの生産振興に取り組んでいる県内有数の産地です。近年、5～9月まで継続出荷できる2期採り栽培が広まり、生産量が増加しています。春採りは、蓄えた養分を使って成長するため、甘みが強くみずみずしいのが特徴で、一番おいしい時期がまさに今！茎が太くて真っすぐで、緑が鮮やかで全体にハリがあり、穂先がしまったものを選んでください。今回は、丸ごと一本使ったボリュームと食べごたえのあるレシピを紹介します。

問い合わせ ◎ 置賜総合支庁農業技術普及課 ☎0238-57-3411

アスパラの丸ごとつくね焼き



◎材料(2人前): アスパラ 4本、豚挽肉 200g、小ネギ 2本、おろしショウガ 小さじ1、ゆずこしょう 小さじ1、しょうゆ 小さじ1、卵 1/2個、片栗粉 小さじ2、スライスチーズ 2枚、日本酒 大さじ1、油 小さじ1、ミニトマト 4個

◎作り方: ①アスパラは、根元を切り落とし、硬い皮をピーラーでむく。小ネギは、小口切りにする。チーズは、半分に切っておく。②ボウルに豚挽肉、小ネギ、おろしショウガ、ゆずこしょう、しょうゆ、卵、片栗粉を入れて、粘り気が出るまでこねる。③アスパラにチーズを巻き、その上に②の肉だねを巻き付ける。④熱したフライパンに油をひいて③を並べ、中火で焼く。⑤焼き色がついたらひっくり返し、日本酒を入れ蒸し焼きにする。⑥器に盛り付け、ミニトマトを添えて完成。

出典: JA山形おきたま広報誌「みらくる」

本県初の「中核市」誕生への県の協力や支援

～県はこれからもサポートしていきます～

山形市の中核市への移行

●住民の方により身近なところで行政サービスが行われるよう、中核市に移行した山形市へ、県から保健衛生や福祉分野など2,543 事務が移譲されました。

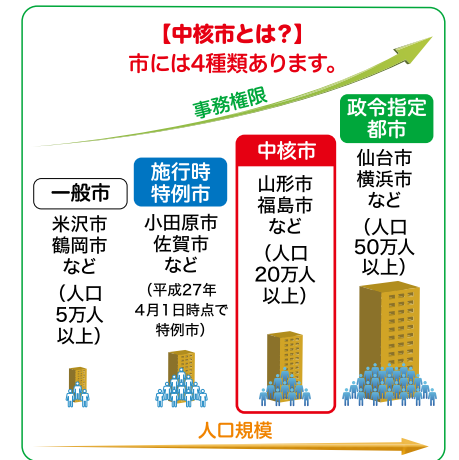
県の協力や支援について

- これまで・・・
- 山形市で新たに設置する保健所や食肉衛生検査施設などの業務に必要な専門知識や技術を習得するため、市職員を受け入れ、研修を行っています。
 - 県から移譲する事務についてマニュアルや引継書を作成し、市の職員に対して業務ごとに説明会や研修会を開催しています。

- これからも・・・
- 山形市が中核市になった後も一定の期間、県の専門職員(獣医師、薬剤師、保健師)を山形市に派遣します。
 - 山形市へ移譲された事務について、その財源として国や県から交付金が交付されます。
 - 山形市と周辺市町が進める「連携中枢都市圏」*の形成に向けた取組みについて、県は後押しをして県勢発展に取り組んでいきます。

～ 県はこれからも必要に応じて支援を行っていきます ～

年月	取組内容
平成27年6月	山形市長が県知事に対し中核市移行の協力を要請
平成28年1月～	山形市中核市移行市・県連絡会議の開催(3回)(移譲事務の協議・調整)
平成29年4月～	山形市職員の事前研修の受入れ(延べ34名)
平成30年1月	県・山形市による総務省への事前協議
平成30年4月～	山形市の中核市移行に係る事務引継要領を策定(移譲事務の引継ぎの準備・調整)
平成30年7月	山形市の総務省への中核市指定の申出について、県議会の議決を経て県が同意
平成30年12月	山形市の中核市移行に関する県条例の改正
平成31年3月	山形市の中核市移行に伴う事務引継式
平成31年4月～	県の獣医師、薬剤師、保健師を山形市に派遣



山形市中核市移行 市・県連絡会議

*「連携中枢都市圏」とは、中核市が周辺市町村と連携して、生活関連サービスの向上に加え、中小企業の販売促進など(圏域全体の経済成長をけん引して)活力ある社会経済を維持する新しい市町村連携のかたちです。



山形市の中核市移行に伴う事務引継式

山形市以外にお住まいの方へ 県の業務について

- これまで県が担ってきた食中毒や感染症の予防、負傷した動物の収容といった専門的な業務などは、山形市へ移ります。
- 山形市以外の市町村にお住まいの方に対しては、これまで同様、県において業務を行います。



▶ 問い合わせ ◎ 市町村課 ☎023-630-2084

